

新春を迎えて

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

町議会を代表して、町民の皆さまに謹んで新年のご祝詞を申しあげます。

皆さまにおかれましては、健康で希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます。さて、地方自治体は、平成の大合併の動きに見られるように、分権時代に相応しい自治の確立に向けて大きく変わろうとしています。しかしながら、国と地方公共団体の役割分担に応じた税源委譲を機軸とする「三位一体」の改革が進まず、自治体の行財政基盤は依然として不安定であります。

景気は、底離れあるいは持ち直しの傾向にあるとの一部報道もありますが、観光地箱根ではそれを実感することはできません。今日の箱根町は、加速する少子高齢化に加えて、人口の減少という極めて重要な問題を抱え、また観光客の減少という深刻な状況にあります。

このような状況の中で、私も議会は、自己責任を原則とする新たな分権型社会の創造を意識するとともに、住民の代表機関として、自治体の最終意思決定を預かる議会の役割と責任を十分に認識することが肝要であると考えても、特に国際観光地箱根の議員として、豊かな自然と歴史的、文化的遺産に恵まれていることを再認識し、力強い産業を持つ国際観光地の更なる発展のために努力すべきであると考えております。

山口町政は、総合計画後期実施計画の年を迎え、住民と行政との協働によるまちづくりを基本に、引き続き財政の再建に積極的に取り組む、時代の要請に応える施策を推進する姿勢であります。

議会といたしましても、執行機関と協調しながら、この箱根町が「住んで良かった町」、「住んでみたい町」となるよう努力してまいります。

今後、開かれた議会を念頭に、住民の代表としての議会の機能を十分発揮し、皆さまのご期待に添えるよう努めてまいりますので、どうか、本年も議会に對しまして変わらぬご支援とご協力をお願いし、平成16年「申」の年が、皆さまにとりまして幸せな年となりますことを心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつといたします。



箱根町議会議長 古川 貞 夫



迎春



確固たる流れに向って



あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

地方自治体は、自己決定、自己責任に基づく分権型社会の構築という新しい時代を迎えております。

このような中、将来にわたり夢と希望の持てる「住まう人」にやさしい、訪れる人にやさしい、自然にやさしい町づくりを推進するとともに、「やさしさ」をキーワードとした観光客受け入れ環境の整備など、心豊かで誇りのもてる国際観光地をめざし、皆さまとの連携と協働のもと着実な前進を図って参る所存でございます。

日本経済は一部明るい兆しも垣間見られますが、依然としてデフレ傾向が続き、未だ景気の見通しは先行き不透明な状況にあります。

このような状況を打破し、明日の箱根町を築くため、財政再建二年目となる今年は、財政再建の具体的な取り組みに着手し、健全化に向け職員一丸となり一層の行財政改革に努めて参ります。

近年、住民の行政ニーズの多様化・高度化、少子高齢化、環境対策などの行政課題に的確に対応するため、全国的に市町村合併が進められています。箱根町においても高齢化率は20%を超え、箱根の将来を考えた時、合併議論は避けては通れない状況です。もとより市町村合併は、子孫に引き継ぐ地域の将来を見据えて、皆さまの自主的な判断に基づき進められるものです。そのため、町では、より活発な議論が皆さまの間で行われるよう情報を提供していく所存でございます。

二〇〇四年は申年です。申は「去る」といい、昔から難が去る、厄が去ると言われています。この新しい年が平和で素晴らしい一年となるよう願うところでございます。

今後とも町政運営にご指導とご協力を賜りますとともに、皆さまのご多幸とご健勝を心から祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

箱根町長 山口 昇 士